

2016年3月期第2四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社 マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2015年11月5日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2015年11月5日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。



- I .2016年3月期第2四半期の決算及び事業の概況
- II .2016年3月期第2四半期の重点施策の進捗状況
- III .今後の目指すべき方向性
- IV .当社の経営目標及び株主還元について

I .2016年3月期第2四半期の決算及び事業の概況





2016年3月期第2四半期 連結決算ハイライト

2016年3月期第2四半期(2015/7-9) 連結決算の総括とポイント

- ① 口座数は、前四半期に続き5,727口座増と順調に増加。
 預り証拠金も口座数の増加に伴い 前四半期末比4.4%増加。

総口座数	267,463口座	2016/3期1Q末比	2.1%増
預り証拠金	52,815百万円	2016/3期1Q末比	4.4%増

- ② 外国為替取引高は、前四半期と比べ豪ドル／円等を中心にボラティリティが高まった結果、前四半期比5.9%増加。

7-9月取引高	2,691億通貨単位	2016/4-6月比	5.9%増
---------	------------	------------	-------

※取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

- ③ 営業収益は、外国為替取引高の増加に加え、取引高当たり収益性も向上したことにより1,621百万円と前四半期比10.2%増加。
 広告宣伝費をはじめ変動費の増加があったものの、経常利益は、505百万円(前四半期比29.7%増)に。

- ④ 親会社株主に帰属する四半期純利益は、前四半期比31.4%増の334百万円に。



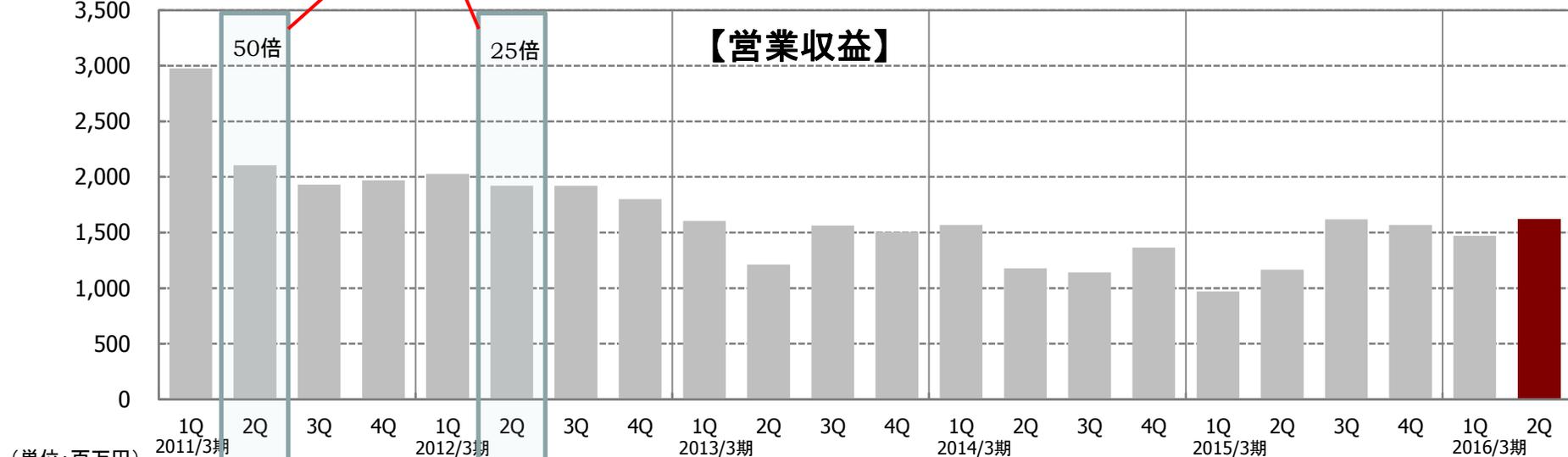
レバレッジ規制開始以来の四半期業績推移

Money Partners Group

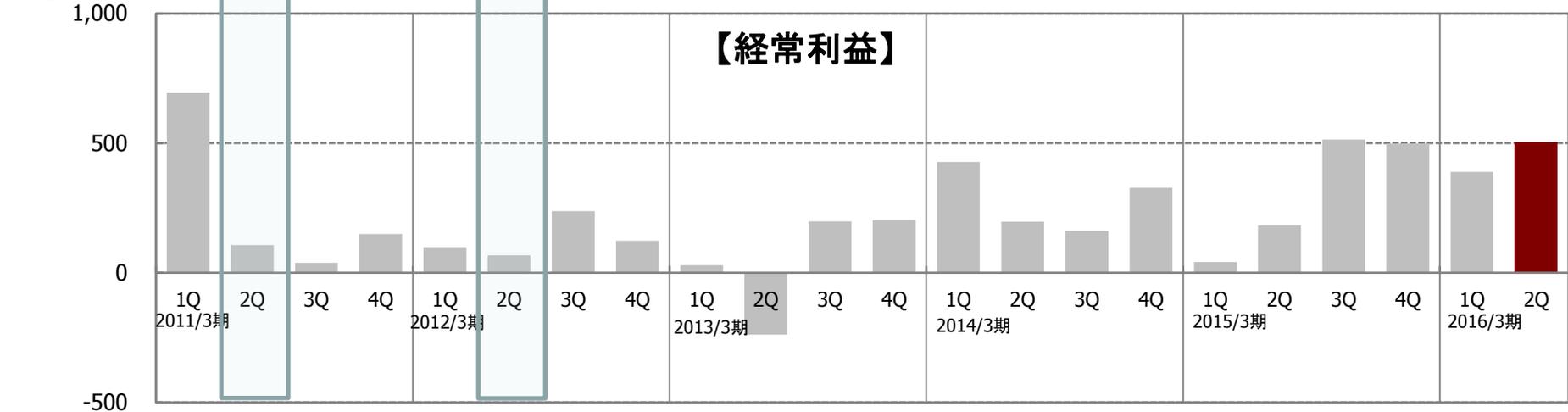
■ 営業収益と経常利益の推移

(単位:百万円)

レバレッジ規制開始



(単位:百万円)





2016年3月期第2四半期 決算概況と影響ファクター

	2016/3期 1Q 【2015/4 ~ 2015/6】	2016/3期 2Q 【2015/7 ~ 2015/9】	前四半期 対比増減
外国為替取引高	2,540億通貨単位	2,691億通貨単位	5.9 %
営業収益	1,471百万円	1,621百万円	10.2 %
経常利益	389百万円	505百万円	29.8 %

【損益影響ファクター】

前四半期比

取引高



収益性



販管費



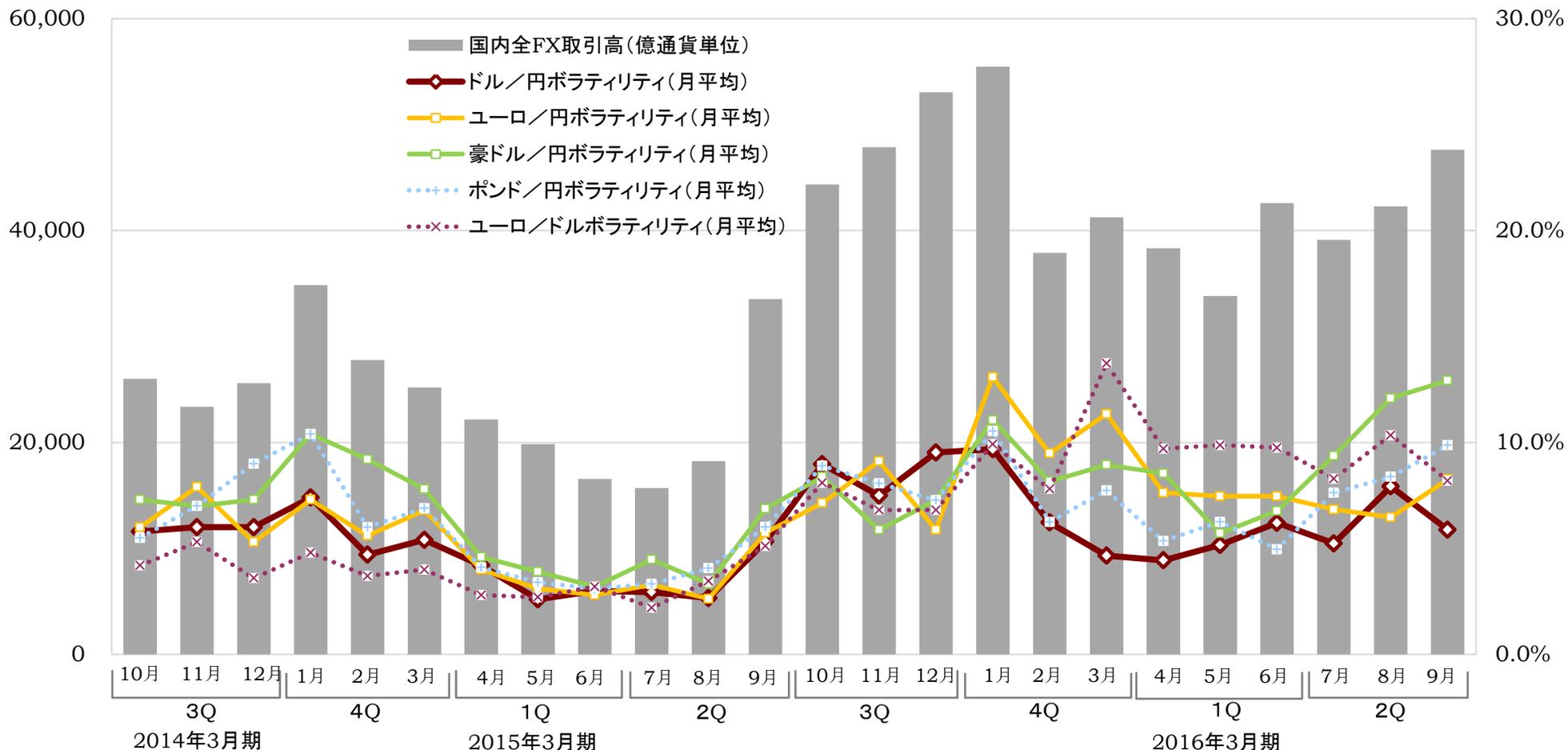
- ・ 外国為替相場は、中国経済の減速懸念等を背景とする8月下旬の世界的な株価下落と同時発生した急激なドル安円高等の影響もあり、前四半期と比べボラティリティは増大。特に豪ドル／円は、約2年振りの高いボラティリティを示した。これに伴い、取引高は前四半期比5.9%増加。
- ・ 豪ドル／円等の相対的に収益性の高い取引の割合の増加とカバー手法の継続的改善による収益力の底上げにより取引高当たり収益性は向上。
- ・ 取引高の増加に伴う変動費等により販管費が増加。



FX市場の動向

Money Partners Group

取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



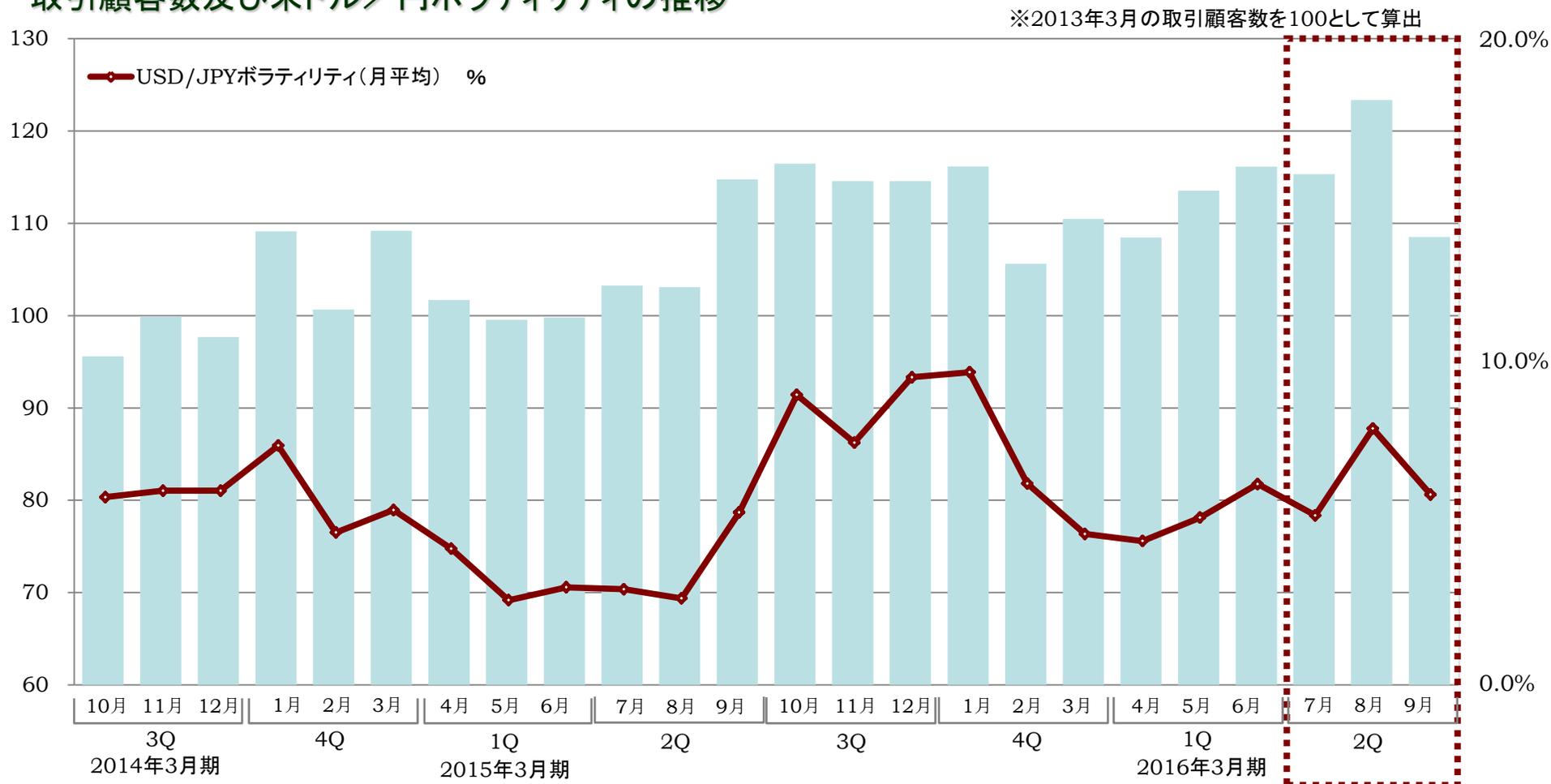
前述のとおり8月の相場変動もあり、前四半期比ボラティリティは増大。取引高は、8月の相場変動による取引活性化や9月には相場変動を受けてのポジション再構築等の動きもあり前四半期比大きく増加。



取引顧客数の推移

Money Partners Group

取引顧客数及び米ドル／円ボラティリティの推移



外貨両替関連サービスやマネパカードによる実需層へのアプローチによる取引顧客数の底上げに加え、8月には外国為替相場が大きく変動したこともあり、月次の取引顧客数は過去最高の水準を更新。ただし、9月は前月の相場変動による含み損失の増加等の影響から取引高とは逆に一時的に減少。



四半期業績推移

Money Partners Group

■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位:百万円

	2014/3期		2015/3期				2016/3期		前四半期 対比増減
	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	
営業収益	1,142	1,365	969	1,167	1,618	1,568	1,471	1,621	10.2%
受入手数料	2	2	2	2	4	4	5	15	187.1%
トレーディング損益	1,136	1,359	963	1,155	1,601	1,554	1,451	1,586	9.3%
金融収益	3	3	2	3	3	3	3	3	5.1%
その他の売上高	0	0	0	6	9	6	10	15	43.1%
金融費用	16	17	18	18	18	19	20	23	15.1%
売上原価	0	0	0	0	0	0	2	7	218.0%
純営業収益	1,125	1,347	950	1,149	1,599	1,548	1,448	1,590	9.8%
販売費・一般管理費	964	1,039	912	981	1,086	1,075	1,067	1,121	5.1%
営業利益	161	307	38	167	512	473	381	468	22.9%
経常利益	162	328	41	182	513	498	389	505	29.8%
税金等調整前四半期純利益	157	327	41	178	505	498	389	505	29.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	96	200	21	117	325	314	254	334	31.4%
営業収益経常利益率	14.3%	24.1%	4.3%	15.6%	31.8%	31.7%	26.5%	31.1%	

取引高の増加と取引高当たり収益性の向上により、四半期営業収益は2015/3期3Q, 4Qを上回り3年振りの水準に。一方、変動費を中心に販売費・一般管理費が増加し、営業利益は468百万円にとどまる。投資事業組合運用益の計上等の営業外収益があり、経常利益は505百万円を確保。



四半期販管費推移

Money Partners Group

■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位:百万円

	2014/3期		2015/3期				2016/3期		前四半期 対比増減
	3Q (10月~12月)	4Q (12月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	
取引関係費	240	293	214	249	311	296	298	333	11.7%
人件費	231	242	225	233	246	245	235	245	4.3%
不動産関係費	146	154	154	161	156	158	156	155	▲1.1%
事務費	224	226	189	213	249	244	243	256	5.6%
減価償却費	99	98	94	94	95	96	91	89	▲2.2%
租税公課	13	15	15	18	17	21	21	24	13.4%
貸倒引当金繰入れ	—	0	—	—	—	—	0	6	—
その他	8	8	17	10	10	13	20	10	▲46.3%
販売費・一般管理費合計	964	1,039	912	981	1,086	1,075	1,067	1,121	5.1%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	112	158	91	113	132	118	122	141	15.6%
システム関連費用(※2)	268	290	247	285	332	330	319	343	7.3%

※1 取引関係費の一部となります。 ※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

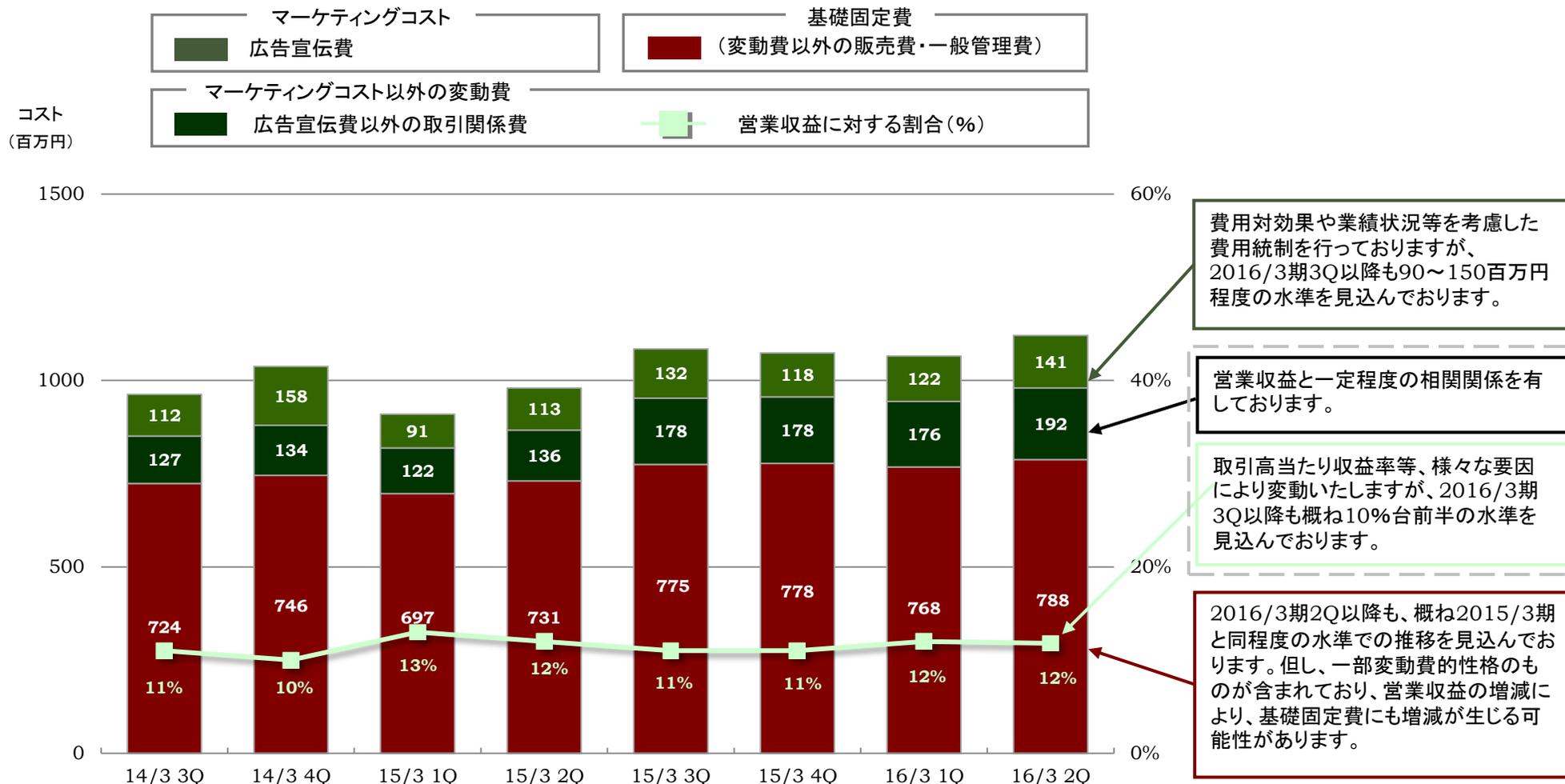
前四半期比、取引関係費と事務費が増加し、1,121百万円に。取引関係費は、取引高増加に伴う変動費の増加と広告宣伝費の一時的増加によるもの。事務費は、変動費的性格のコストの増加とシステム開発体制の強化による一時的増加であり、システム関連費用の増加も概ね同様の理由。



四半期固定費・変動費推移と今後の動向

Money Partners Group

■ 主要な固定費・変動費の推移



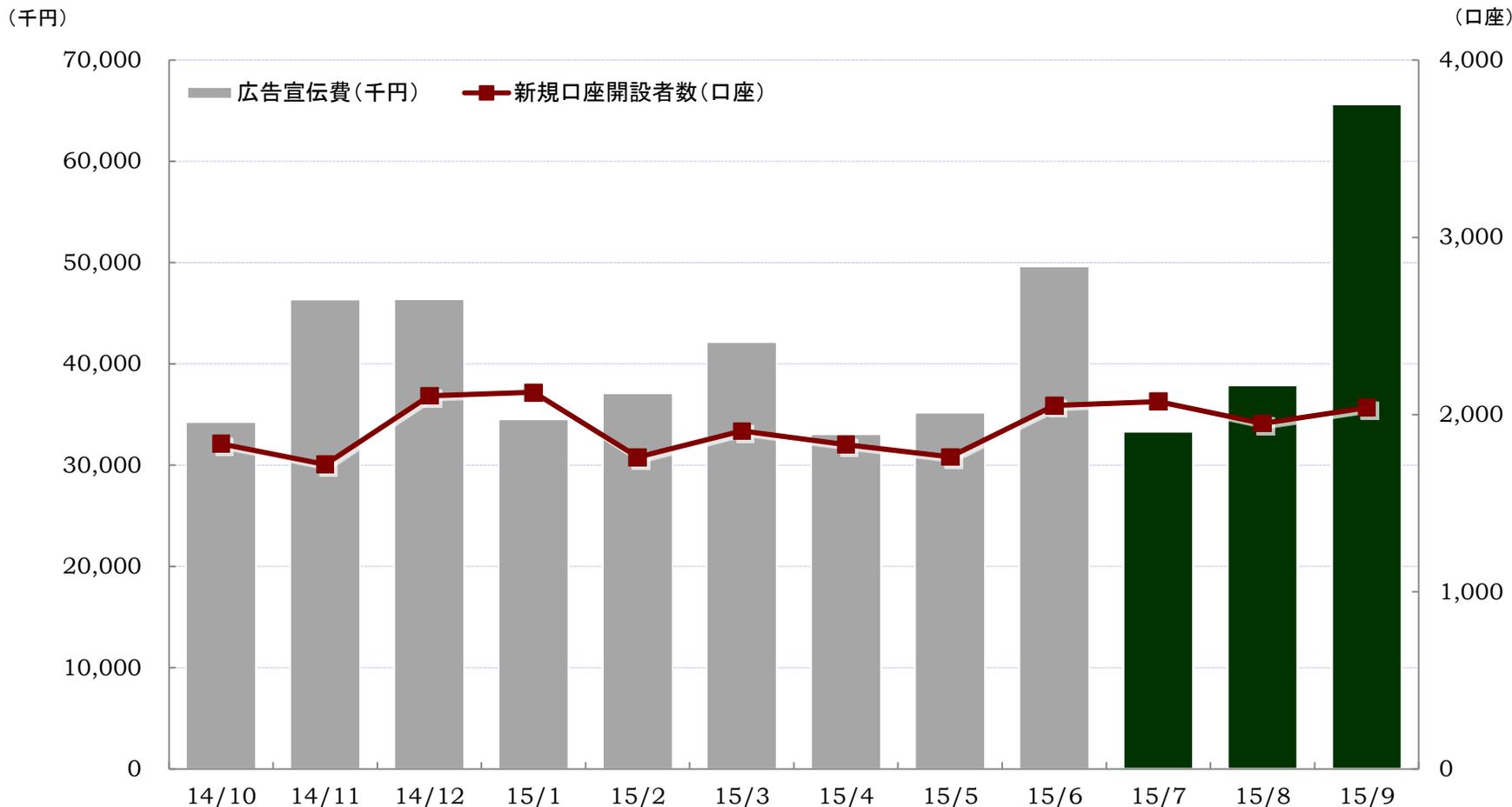
2016年3月期第2四半期の固定費・変動費は、前四半期より増加しているが、概ね営業収益(取引高)の増加に起因するものであり、今後についても当面はコスト構造に大きな変化は生じない見込み。



月次広告宣伝費の推移

Money Partners Group

■ 広告宣伝費及び新規口座開設者数の推移



9月の広告宣伝費は、8月下旬の急激な相場変動による顧客損失に対応し、顧客預り資産の回復・増加に注力した結果、一時的に増加したものの、10月以降は概ね以前の水準に戻る見込み。



月次業績指標推移

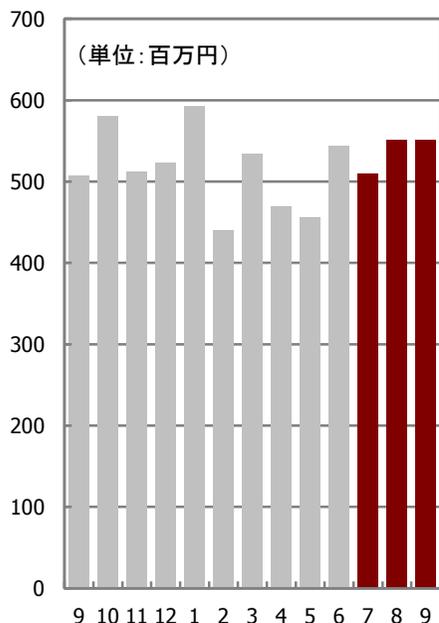
Money Partners Group

■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

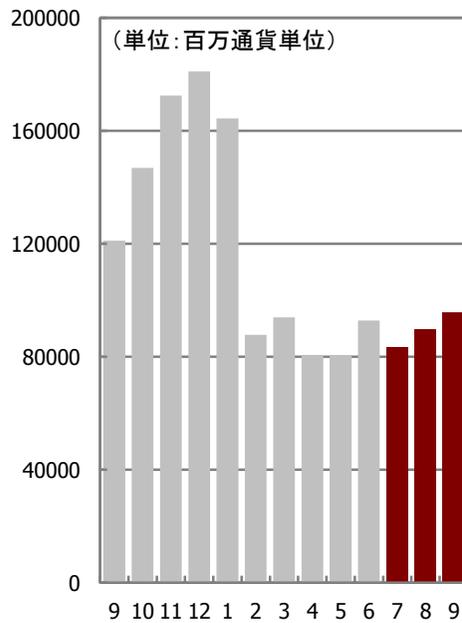
	2014年				2015年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業収益(百万円)	507	581	512	523	593	440	534	470	456	544	510	552	552
外国為替取引高 (百万通貨単位)	121,116	146,935	172,500	180,985	164,450	87,835	93,958	80,634	80,504	92,881	83,564	89,674	95,887
顧客口座数(口座)	245,880	247,587	249,193	251,189	253,179	254,732	256,494	258,189	259,825	261,736	263,685	265,521	267,463
顧客預り証拠金(百万円)	45,649	46,290	46,008	47,359	48,114	47,653	47,961	48,896	48,707	50,101	50,236	48,253	52,815

※営業収益、取引高は、大証FXマーケットメイク業務に伴い発生した収益・取引を含んでおります。また、それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDIに関する数値を含めております。

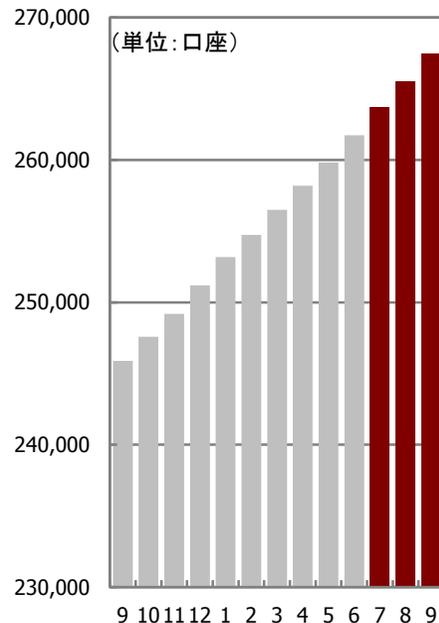
■ 営業収益



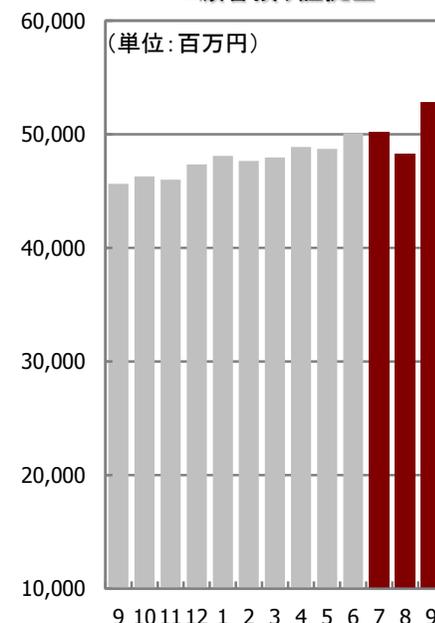
■ 外国為替取引高



■ 顧客口座数



■ 顧客預り証拠金



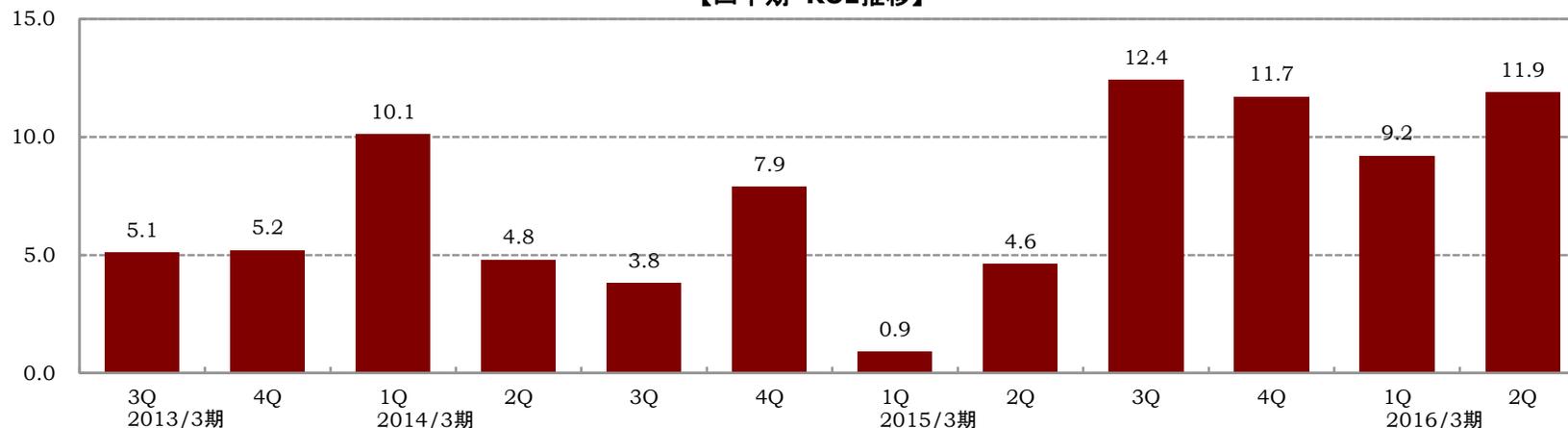


主要経営指標推移

Money Partners Group

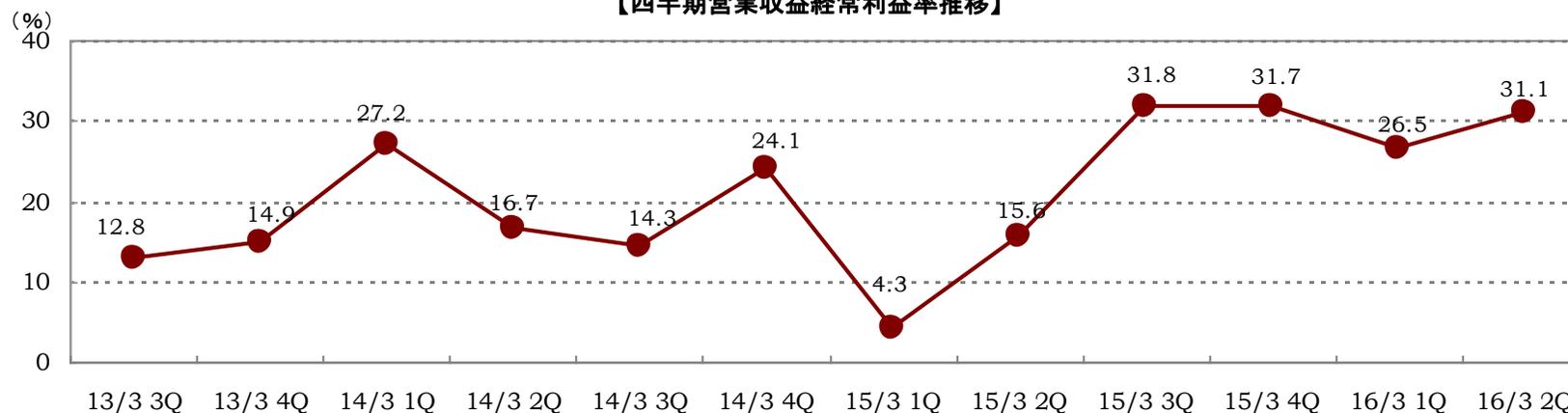
■ ROE及び営業収益経常利益率推移

【四半期 ROE推移】



※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期初自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$

【四半期営業収益経常利益率推移】



Ⅱ.2016年3月期第2四半期の重点施策の進捗状況





2016年3月期の重点施策

重点課題

既存ビジネス

収益力強化

顧客基盤拡大
取引機会創出

新たなビジネス・
サービスの事業化

重点施策

- 実需層の取り込みによる顧客基盤の拡大と収益化
- 顧客基盤の多様化と収益率の更なる向上

実需

- ★ ブランディング及び実需顧客等の取り込み
- ★ カード及び外貨両替サービス利用者層の取り込み

顧客サービス

- ★ 顧客向けサービスの改善
- ★ 新注文・新サービス・新機能の提供

収益

- ★ 収益性継続の改善



重点施策の進捗状況①

Money Partners Group

ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

FX

PC向け取引ツール「HyperSpeed Next」に 移動平均線を利用した自動売買機能を新規追加

【主な特長】

24

【サーバー型サービス】
パソコンの電源はOFFでもOK！
仕事中も旅行中もきっちり発注！

¥0

【通常FXベースサービス】
マネパの自動売買は追加コスト0！
スプレッドも、手数料も変わりません。



【複数のストラテジを独立して管理】
ストラテジごとにポジションを制御！
あなたの戦略を邪魔しない、
柔軟な注文スタイル



【バックテスト機能】
複数の戦略の成績チェックが可能！

予め取引の条件を設定しておく

自動売買新規作成

自動売買を行うには、売買ルールを指定する必要があります。
「既存売買ルール追加」または「新たな売買ルール追加」ボタンより売買ルールを指定してください。

ストラテジ名 ① 新規自動売買ストラテジ1

コメント ②

作成者 ③ [ローカル作成]

通貨ペア ④ USD/JPY 足種別 30分足

注文数量 ⑤ 1 × 10,000

最大建玉数 ⑥ 1 × 10,000

利食い pips ⑦ 20.0 pips 設定なし

損切り pips ⑧ 20.0 pips 設定なし



条件に該当したときに自動的に取引発注



重点施策の進捗状況①

Money Partners Group

ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

カード

カード口座の堅実な増加

月次の新規口座数は、FXを超える水準に



月次の利用金額、両替金額は、累計口座数に応じて急ピッチで増加

海外旅行先のATMで現地通貨のお引き出し

マスターカードの使えるお店でショッピング&グルメ

マネバカード口座

マネバカード口座

振替

手数料 1通貨あたり 0.004通貨

手数料 0円

外貨預りが発生するケース

- FX取引の決済益、スワップポイント
- 金融機関の外貨預金などからの外貨振込
- 外貨両替

- ◆ 営業収益「受入手数料」の増加
- ◆ カード利用をきっかけとするFX取引の増加

ビットコイン

7/16 Krakenとの業務提携に係る基本合意

Kraken名義で世界的にビットコイン取引所を運営するPayward Inc.と同社の日本子会社であるPayward Japan 株式会社との間で、ビットコイン取引をはじめビットコインを活用した決済サービスやビットコインを原資産としたデリバティブ取引等に関する業務提携について検討を行うことに合意

テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」、日本経済新聞をはじめ、延べ30以上のメディアで取り上げられました。

一般社団法人日本価値記録事業者協会へ賛助会員として加入するとともに、ビットコイン関連ビジネスの事業化についての検討を開始。



7/28当社主催ワークショップ「Bitcoin Talk (ビットコインの過去 現在 未来)」



重点施策の進捗状況②

Money Partners Group

ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

ビギナー向けFX

パートナーズFXnano

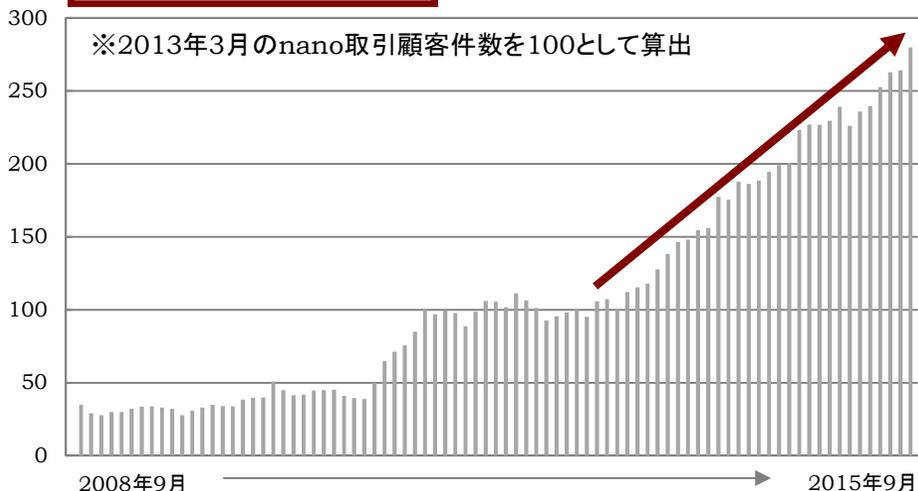
- ・ナロースプレッド
- ・スワップ最高水準
- ・取引ツールとの連動

※例外あり

米ドル / 円 **0.3** 銭

初心者にも最適のnano
少額取引 & 業界最狭水準スプレッド

nano取引顧客数推移



パートナーズFXnanoの取引顧客数は堅調に増加

空港での外貨引渡し

- ◆ 利便性の向上

利用申込の締切から受取可能日までの日数を短縮
(最短8日 → 最短4日)

外貨紙幣の引取り

- ◆ 新たな提携先の獲得
- ◆ 提携先とのコミュニケーション強化

We accept
USD & EUR here!
(bills only)

外貨紙幣使えます!

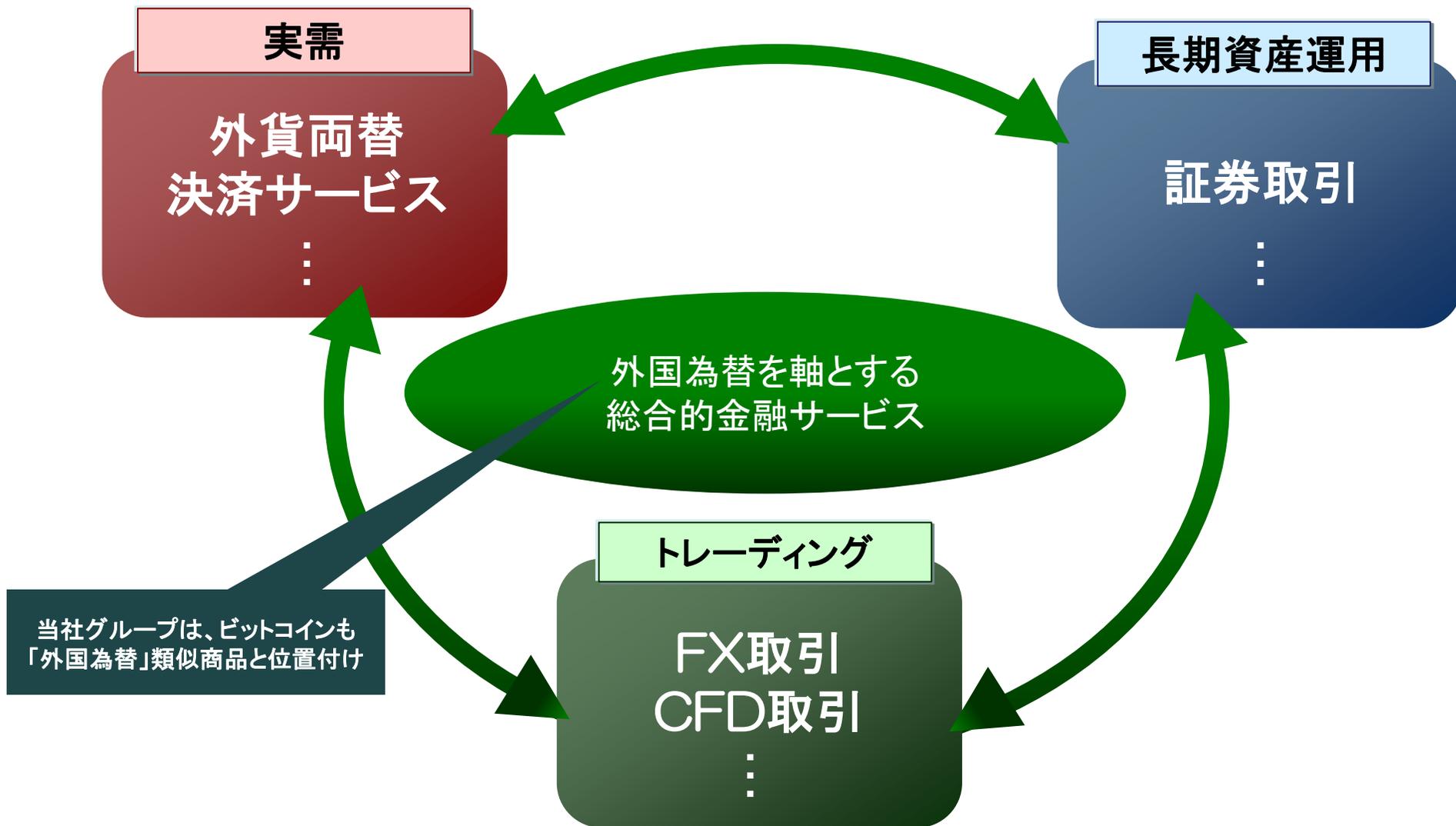
マネーパートナーズ

Ⅲ. 今後の目指すべき方向性





中長期的な経営戦略 ~ 独自ポジションの構築



IV. 当社の経営目標及び株主還元について





ROE及び営業収益経常利益率の向上

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ **2016年3月期第2四半期(2015年7~9月)のROEは11.9%**

※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。

ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100

▶ **2016年3月期第2四半期(2015年7~9月)の営業収益経常利益率は31.1%**



株主還元について

Money Partners Group

業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

配当方針

配当性向 … 連結当期純利益の**30%**を目処

配当機会 … **中間及び期末** (年2回)

	2015年3月期				2016年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益(百万円)	21	117	325	314	254	334		
上段:3ヶ月	21	139	465	780	254	588		
下段:累計								
配当金の総額 (百万円)	45		197		168			
期末発行済 株式総数(株)	32,241,000 (内、自己株式2,002,300)		32,459,900 (内、自己株式2,002,300)		32,616,900 (内、自己株式2,002,300)			
1株当たり 配当金	中間・期末	1.5円		6.5円		5.5円		
	年間	8円						



取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とは差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXについては、受渡取引に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手数をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの場合は、取引の額の0.5%以上の額で、証拠金の約200倍までの取引が可能です。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.7%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,700円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会
一般社団法人日本資金決済業協会

2016年3月期第2四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社 マネーパートナーズグループ